



杭州2022年第19届亚运会
The 19th Asian Games Hangzhou 2022

千島湖・淳安界首スポーツセンター (自転車競技場)

杭州市の淳安県と建徳市にまたがる千島湖(水力発電所を建設した時にできた人口湖)に、国家級風景名勝区に指定された風光明媚な地域に淳安界首スポーツセンター(自転車競技場)があります。朝日を浴びた湖面を魚が跳ね水滴がキラキラ飛び散る様子「朝陽魚躍、千湖明珠」をテーマに設計されました。総面積は3.2万㎡、建築面積は2.4万㎡、高さ40m、まるで水面から真珠が姿を現したような半球型で、千島湖の島々と調和しています。座席数は3040席、250mのトラックは木製で、その競技の激しさとは裏腹に、柔らかな雰囲気醸しています。このような環境の中、日本もアジア競技会自転車トラック各種目でメダルを多数獲得しました。

特集

静岡県・浙江省、色々な分野で交流再開 (環境、産業、介護、観光)

- ◎中国渡航にかかる査証について
- ◎浙江省を疾走する高鉄の今
- ◎駐在生活から見える「季節の色“カラー”」 静岡県上海事務所長
- ◎花を巡る旅情 <<水仙(すいせん)>>
- ◎三国志の英雄達 ゆかりの地・陸遜と海昌屯田

特 集

静岡県・浙江省、色々な分野で交流が再開

環境ビジネスプラットフォームにより、双方が相互訪問

コロナ禍により、環境ビジネス交流事業は、昨年度までオンラインでしたが、今年度は環境ビジネスプラットフォームを活用した相互訪問が再開しました。

今年度、相互往来による交流が再開され、7月には静岡県環境資源協会が浙江省でニーズ調査、9月には浙江省環保産業協会が静岡県でニーズ調査、また、11月には県内企業が浙江省を訪問して浙江省でビジネスマッチング、12月には浙江省企業が静岡県を訪問して、静岡県でビジネスマッチングを実施することができ、一定の成果をあげることができました。環境ビジネスプラットフォームを通じて、静岡県環境資源協会と浙江省環保産業協会との連携が更に深まり、静岡県企業と浙江省企業とのビジネス交流が加速していくことが期待されます。



浙江省産学研合作促進会 本県を訪問

浙江省産学研合作促進会訪問団(団長・趙栄祥浙江大学二級教授)一行18名が2月27日(火)から3月4日(月)まで来日しました。



29日には静岡において交流懇談会を行い、友好県である静岡県の関係者と懇談し、今後の交流の可能性を探り、本県に対する理解を深めました。

浙江省産学研合作促進会は、浙江大学が発起人となり、その他の高等教育機関・科学研究機構・知名度のある企業が共同で設立した機関で、産学研に熱心に取り組んでいる行政機関・企業代表・科学者・専門学者・投資家等が自主的に組

織した全省を網羅している非営利の社会团体です。

浙江樹人学院が来静、介護教育分野で協定締結

2024年1月8-12日、県と浙江省間で推進している高齢者介護福祉分野の交流を具体的に展開するため、浙江樹人学院一行が来静しました。

浙江樹人学院は1984年設立の浙江省教育庁が管理する全日制4年制の民営総合大学であり、介護教育分野で交流を促進するため、浙江樹人学院党委書記・学術委員会主任章清氏を団長とする一行6名が来静しました。一行は福祉施設まごころタウン静岡を視察した他、常葉大学、静岡産業大学や静岡福祉大学の県内大学と交流しました。まごころタウン静岡のグループ企業インフィック(株)との間で、日中介護サービスや、高齢者介護産業のグローバルでの促進のため、ヘルスケア産業連携コミュニティ(拠点)共同構築枠組み協定を締結、今後の世界的な高齢化の課題に共に取り組んでいくことを確認しました。



静岡県、中国インバウンド商談会を開催

2024年2月1日、中国人観光客の誘客のため、中国の旅行会社を招き、ホテルアソシア静岡において「中国インバウンド商談会(静岡県主催)」が開催されました。

2024年、次第に国際的な往来が回復する中、県内にも外国人観光客の増加が期待されています。この度、静岡県を含む日本の旅行商品を展開している中国の旅行会社を招き、中国人観光客の本県への誘客のための商談会を開催しました。中国からは、上海市、杭州市、成都市、西安市の旅行会社11社が参加、静岡空港より入国し、実際に県内の



宿泊施設に宿泊、地元のグルメ、観光施設を楽しむ、2月1日には中国人観光客の誘客を目的とした商談会が開催されました。商談会には県内から宿泊・観光・交通業者22の施設や企業が参加し、静岡の魅力をア

ピールしました。中国旅行社も静岡の観光資源の豊富さに改めて興味を持った様子で、双方熱心に商談を進めていました。

中国渡航にかかる査証について

中国渡航には、事前に査証取得が必要であり、コロナ渦前のようにノービザ・短期訪問(15日間)の訪問ができず、現状、日本人に対する短期滞在ビザ(査証)の免除措置を再開しない状況が続いています。しかしながら、事前に査証を取得する以外にも、中国に渡航する方法があります。

APEC ビジネストラベルカード

APEC ビジネストラベルカードを保持している場合、2023年5月1日以降、1回の中国滞在は入国後60日滞在が可能であり、別途ビザ取得が不要です。

⇒ 詳細は外務省HPを参照ください。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/apec/btc/index.html>

トランジットビザ(72時間・144時間)

144時間トランジットビザ免除口岸と滞在可能なエリア

免除対象都市・口岸	滞在エリア	免除対象都市・口岸	滞在エリア
北京 北京首都国際空港(PEK) 北京大興国際空港(PKX) 北京西駅	北京市 天津市 河北省	瀋陽 瀋陽桃仙国際空港(SHE)	遼寧省
天津 天津滨海国際空港(TSN) 天津国際クルーズ母港		大連 大連周水子国際空港(DLC)	山東省
石家荘 石家荘正定国際空港(SJW)	上海市 江蘇省 浙江省	青島 青島膠東国際空港(TAO) 青島海港	成都市 樂山市 徳陽市 遂寧市 眉山市 雅安市 資陽市 内江市 自貢市 瀘州市 宜賓市
秦皇島 秦皇島海港		成都 成都双流国際空港(CTU)	
上海 上海虹橋国際空港(SHA) 上海浦東国際空港(PVG) 上海海港口岸 上海鉄路口岸	広東省	昆明 昆明長水国際空港(KMG)	昆明市
杭州 杭州蕭山国際空港(HGH)		武漢 武漢天河国際空港(WUH)	武漢市
寧波 寧波櫟社国際空港(HGB)		重慶 重慶江北国際空港(CKG)	重慶市
南京 南京禄口国際空港(NKG)		西安 西安咸陽国際空港(XIY)	西安市 咸陽市
広州 広州白雲国際空港(CAN)			
深圳 深圳宝安国際空港(SZX)			
掲陽 掲陽潮汕国際空港(SWA)			

72時間トランジットビザ免除口岸と滞在可能なエリア

免除対象都市・口岸	滞在エリア	免除対象都市・口岸	滞在エリア
長沙 長沙黄花国際空港(CSX)	湖南省	哈爾濱 哈爾濱太平国際空港(HRB)	哈爾濱市
桂林 桂林両江国際空港(KWL)	桂林市		

都市・口岸(通関地)ごとに滞在可能エリアが異なります

このビザで入国した外国人は許可された滞在区域と期限を超えての滞在はできません

到着ビザ・アライバルビザ(24時間ビザ免除)

商業・貿易、訪問・交流、投資・起業、親族訪問、私人事務等の非外交・非公務に従事するため緊急に訪中する外国人で、中国外でのビザ手続きが間に合わない場合、招聘状等の証明資料によりアライバルビザ(到着ビザ)を申請することができます。

北京首都、北京大興、上海浦東、杭州、厦門、広州、深圳、成都、西安の9空港で、手続きなしの24時間ビザ免除を実施し、24時間以内の乗り継ぎチケットを持ち、いずれかの空港で入国し、第三国・地域へ出境する旅客は、手続きせずにビザなしで入国できます。

浙江省を疾走する『高铁』の今



浙江省は、2025年までに省都・杭州市と省内各市を結ぶ交通網を整備し、省内どこへ行くにも1時間で行ける「**一時間交通圏**」を実現することを目標としています。省内に高速鉄道網12路線を整備、一層の経済発展を目指します。今回は前回紹介の路線とは別の3路線を紹介します。

⑩合杭高铁（合肥－湖州）

区間 肥東駅－湖州駅

全長 305km（うち浙江省内 48km）

開通 2020年6月28日

安徽省と浙江省を13駅で結ぶ鉄道です。



太湖山トンネルは3618mで断層が多く複雑で、同時に太湖山国家級森林公園を通るため環境にも配慮が必要なトンネルです。また蕪湖長江三橋は上部が車道、下部に高速鉄道が通り、「1つの世界1、2つの中国最先端、10のイノベーション、20の特許」技術を駆使して建設しています。

⑪杭台高铁

区間 紹興北駅－温嶺駅（第一期）

全長 226km

開通 2022年1月8日

浙江省内を走る高速鉄道で、杭州－紹興北駅間は杭深鉄道を利用しています。省内の長江デルタ都市を結ぶ重要な交通網となっています。中国で初めて民営資本により建設された高速鉄道で、その運営が注目されています。



⑫合杭高铁（湖州－杭州）

区間 湖州駅－桐廬東駅

全長 138km

開通 2022年9月22日

合肥-湖州間より遅れること2年、アジア競技大会に間に合うように湖州から杭州まで開通し、合肥から杭州まで繋がりました。中国中部と海岸付近の長江デルタ地域一体化を促進する重要な意義を持つ路線です。



駐在生活から見える「季節の色“カラー”」



皆さんこんにちは。静岡県上海事務所長の石川と申します。
季節の色をテーマに「中国の今」をお届けします。

赤色に吉祥の願いを託す中国の春節

静岡国際経済上海事務所
石川祐介所長

2024年2月10日、中国では旧暦の新年を迎えました。この時期の上海の商店街は、地方出身者が一斉に田舎へ帰省するため、コンビニなど一部のチェーン店を除いて軒並み閉店します。上海市の中心部では、春節の賑わいに欠かせない爆竹の使用も禁止されており、「小区」と呼ばれる住宅区画の入口に「中国結」が飾られるほかは、静かな年明けを迎えます。



それでも上海は観光都市ですから、外灘や豫園など観光地には、正月らしく真っ赤な『龍』のオブジェが現れ、多くの観光客で賑わっていました。この時期は、人々も赤いコートやマフラーを好んで身に着けるので、人混みは普段よりも熱気を感じます。

赤色は「太陽と火の象徴」で、中国で最も好まれる色です。人々に幸福や成功、吉祥を与える色として、春節に子供たちに配られるお年玉は「紅包（ホンバオ）」と呼ばれ、街角には真っ赤なイチゴやサンザシの飴が並びます。



ただ、今年の春節は、国内の景況感がやや悲観的であったことにも起因してか、例年と異なる様子も報道されていました。例えば、春節は「都市部で働く子世代が土産を抱えて実家に帰省する」のが一般的ですが、今年は「親族が子世代の働く都市部を訪れ一家団欒を過ごす＝逆春運」が話題となり、とくに四川省・湖北省など内陸部から北京・天津・西安などへの移動が目立つと紹介されました。また、中国の春節には高速道路が無料開放されますが、今年は例年以上にマイカー帰省の人々が多かったようで、上海から貴州省まで30～40時間かけて移動する家族連れのインタビューや、家族旅行も「南から北への雪見北上」、「北から南への避寒南下」が注目を集めました。

こうした中でも、中国から日本へのインバウンドは徐々に回復の兆しを見せています。富士山静岡空港では、中国東方航空の上海－静岡線の搭乗率が徐々に改善する中、4月29日から週4便（月・水・金・日）に増便するとの嬉しいニュースも入ってきました。中国と関わりの深い皆さんにとりまして、

「紅運当头（ホンユンダントウ）＝良い運に巡り合う」の一年になりますように！

花を巡る旅情

舟山の水仙（スイセン）



冬に現れ、すらっとたたずむ水仙は、
花は多く、香りが高く、花期は長く、葉は濃緑、
寒さに強く、春を待ち望む人々の心を和ませます。
花瓶にざっくりと活けても美しく、広く好まれています。

水仙は舟山市の市花です。舟山市の島々には野生の普陀水仙が群生しています。普陀水仙は別名「観音水仙」とも呼ばれ、中国では伝統的に名花として好まれています。浙江省や福建省で主に生息する漳州水仙、上海崇明県で400年にもわたり栽培されている崇明水仙と共に、中国最佳三大水仙の一つです。



普陀水仙にはこんな伝説があります。その昔、中国の花の精を統括する花神・百花



百花仙子

仙子は冬に咲

く花を育てようと心を尽くしていました。しかし、育つのは根ばかり、芽も花も出てきませんでした。なすすべも無くなり、普陀山に赴き、観音菩薩に救いを求めました。観音様は慧眼を開きこう言いました。「寒冬は草木が枯れる季節、それは自然の現象で、難しいお願いです。ただあなたは誠心誠意で救いを求めています。一つだけ花を咲かせましょう」

百花仙子は喜んで、球状の根を一つ選び捧げました。観音様が清瓶から水を灌ぐと緑の葉が出てきました。観音様は自分の蓮台から六片花びらを摘み、花を創り、手に持っている金色の香炉を花びらの中心に据えました。百花仙子は観音様に感謝を示すため、その花を普陀の地に撒き、根をおろさせました。毎年、百花が衰える時期に、たくさんの水仙が花を咲かせることとなりました。

百花仙子が観音様に願って誕生した水仙ですが、実際は有毒植物で、特に葉はニラに似ており、誤って食べ中毒症状を起こす事件も時々あるようで、注意が必要です。

三国志の英雄達

ゆかりの地

陸遜と海昌屯田（海寧）



陸遜（183年～245年）、字は伯言、現在の江蘇省蘇州市出身。陸氏は呉の四姓と呼ばれる有力豪族で、陸遜はその傍系として生まれました。21歳で孫権に仕えると頭角を現します。呂蒙と協力して関羽を撃破し、荊州の奪還に成功。更に夷陵の戦いでは大都督として呉軍を指揮し、策をもって劉備率いる蜀の大軍を破り、孫権に重用されました。しかし、後に、後継者問題に巻き込まれ、また孫権に疎まれたりして、63歳で亡くなりました。

钱塘江北岸に位置する海昌（現在、浙江省海寧市）は、「海濤安昌」が込められていました。荒々しい钱塘江潮が打ち付ける地域で当時の状況と人々の願いがわかる名前です。孫権はその地を統治すると、20代前半の陸遜を海昌屯田都尉兼領県事として配属させました。

陸遜は赴任してまず食糧難の問題に取り組みます。この地域は生産性が悪く、何年も干ばつに見舞われていました。「貯蔵庫を開いて貧民を奮い立たせ、農耕と養蚕を奨励し、民に利益をもたらす」のように、農耕生産を重視しました。屯田と言われる荒廃した田畑を軍人など人々にあてがって耕作させる制度を運営し、食糧供給を安定させ、治水建設にも力を入れました。海昌を統治した実績により孫権に更に重要視されるようになりました。

陸遜は忠誠実直で儉約家、先見の明があり、刑罰より礼を重んじる性格で「神君」という号を与えられています。陸遜の、民の生活を重んじ、施策を実行していく姿は、その後の海寧の人たちに伝統として継承され発展しています。海昌屯田の精神は今でも海寧精神の宝物となっているようです。一方でモノとしては海寧市には陸遜管理の記念石碑がありますが、ほぼ観光地化されておらず、木の枝に隠れるようにひっそり立っています。目印はその向かい側にあるお寺、とのことで、目立つことなく陰ながら万人を思う神のような趣を漂わせています。



発行所：静岡県日中友好協議会
発行人：増井浩二

静岡市葵区追手町44-1（静岡県産業経済会館1F）
TEL (054) 255-8111